

市長との約束 2022



私は、「宝の都（くに）・大崎」の実現のため、関係部局との連携のもと、特に下記の事項について、目標達成に向けて取り組むことを伊藤康志市長と約束します。

総務部理事(財政担当)

大場 一浩

約束内容	持続可能な財政運営に向けた取組
達成目標	厳しい財政状況を踏まえ、持続可能な財政運営の実現に向け、財政健全化行動指針に掲げた取組を進めます。
達成度	B 概ね目標どおり達成 ★★★★★
達成状況	<ul style="list-style-type: none">・令和5年度当初予算編成に向け、予算編成方針を2カ月前倒しし、事業のスクラップ研修や各部課における事務事業調整の検討期間を設ける等、新たなスケジュールによる予算編成を試行した。・持続可能な財政運営について、できる限り財政調整基金に依存しない予算編成に向けて、目標とした財政調整基金繰入れ20億円を数字上は達成することができたが、更なる圧縮が必要と認識した。・財政調整基金は着実に減少する見通しであり、今後2～3年間で財政健全化の重要な期間になると考える。

約束内容	入札・契約事務の適正化に向けた取組
達成目標	大崎市入札・契約事務検討会議報告書に基づき、より適正な入札・契約制度の確立に向けた改善策の具現化を進めます。
達成度	B 概ね目標どおり達成 ★★★★★
達成状況	<ul style="list-style-type: none">・より適正な入札・契約制度の構築に向けて、令和4年度は、物品調達における契約保証金の免除を11月公告分より実施した。・また、建設工事等に係る積算疑義の申立て手続きの導入、建設関連業務の最低制限価格の見直しについては、令和5年度から実施することで制度設計を行った。

約束内容	公共施設等総合管理計画の推進に向けた取組
達成目標	公共施設総合管理計画に掲げた目標達成に向け、各個別施設計画の整備方針について、利用実態等を含めた再点検を進めます。
達成度	C 達成目標を下回る ★★☆☆☆
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・各個別施設計画の整備方針について、利用実態等を含めた再点検を進めるため、施設所管課への説明会を開催し、庁内協議（本庁、各総合支所）のキックオフを行った。 ・令和4年度の取り組みとしては、公共施設の適正化に向けて、公共施設の統廃合や機能集約、解体等について、施設毎のカルテ（コスト計算書含む）等の基礎データを作成し、具体の協議に向けた準備を進めている。